

後期基本計画 令和 3年度 施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

施 策 : 01 住民協働による環境保全

施策担当職・氏名	総括主査 武田 憲昭
-----------------	------------

1. 施策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	本市の良好な環境を保全するため、環境基本条例及び第2次環境基本計画に基づき、エネルギー利用の節約による二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの活用、ごみ減量・資源化の推進、地域清掃による環境美化その他の環境保全などの取組みを市民、事業者及び市が連携し、協力しあいながら「住民協働による環境保全」を推進します。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 1日当たりのごみ排出量 (住民1人当たり) 単位 g	856	842	828	814	800	800	C
	単位		830	843	831	-	-	44.6
	単位							
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
1	2264 クリーンたきざわ運動推進事業 地域清掃実施回数 単位 回	目標値	120	120	120	120	120	120
		実績	101	105	90	99	-	-
2	2920 環境基本計画推進事業 環境審議会の開催回数 単位 回	目標値	1	1	1	2	3	1
		実績	1	1	1	2	-	-
3	2967 衛生指導推進事業 定期報告書提出枚数 単位 枚	目標値	360	360	384	384	384	384
		実績	358	371	384	384	-	-
4	15106 ごみ減量化推進事業 1人1日当たり家庭系ごみ排出量 単位 g	目標値	531	521	511	500	489	481
		実績	525	526	527	522	-	-
	単位	目標値						
		実績						

後期基本計画 令和 3年度 施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

施 策 : 01 住民協働による環境保全

施策担当職・氏名 総括主査 武田 憲昭

2. 施策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 各自治会を中心とした地域清掃活動が実施されたことにより、住民協働による生活圏の清潔が保持され、活動を通して環境への配慮への関心が高まりました。 たきざわ環境パートナー会議を中心とした、自然環境の観察・保全活動がなされたことで、市民の活動を通してのつながりができ、環境配慮への関心が更に高まりました。 環境保全、ごみ減量の普及啓発を図るため、環境企画展等での広報活動を例年行ってきましたが、令和3年度は新型コロナ感染症対策のため実施出来ませんでした。 ごみ減量については、一人当たりのごみ排出量の目標を達成することはできませんでした。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】自然環境を大切に、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、環境問題に対する取り組みに関心を持ってもらい、意識高揚を図っていく必要があります。地球環境への負荷による異常気象の対策として二酸化炭素排出量の削減、循環型社会の構築のため、ごみ減量・資源化の推進に取り組みます。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】たきざわ環境パートナー会議を中心とした自然環境の観察活動、広報活動・ごみ減量活動やその広報活動を通して、市民の自然環境・地球環境への負荷軽減の意識を高めることが出来ました。</p>	

3. 施策の実現に向けての令和 3年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
<p>地球環境、自然環境、生活環境に対する社会的関心は相変わらず高く、社会的環境変化はなかったものと考えます。ただ、コロナ禍に伴う一般廃棄物等の排出量増減については注視していく必要があります。</p>	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

B	必要あり
<p>環境問題に関しては、中長期的な取り組みが必要であると考えます。そのような中で海洋プラスチックごみ問題・プラスチック資源循環促進法の施行・政府の2050年カーボンニュートラル宣言等、時々刻々と政策に対する様々な要望が生まれています。よって、今後も継続して同一の取り組みを続けながら、現状の取り組みの見直しや新たな施策の検討を随時行っていきます。</p>	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 本市の恵まれた環境を将来の世代に引き継ぐため、引き続き環境保全のための様々な取り組みを推進し、住民協働による環境保全に取り組みます。</p> <p>【引継課題】 地球温暖化対策（二酸化炭素等の温室効果ガス排出量削減、ごみ減量・資源化の推進等）、環境保全のための様々な取組の推進に関して継続的に取り組んでいく必要があります。</p>	

後期基本計画 令和 3年度 施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

施 策 : 01 住民協働による環境保全

施策担当職・氏名 総括主査 武田 憲昭

(4) 所管実行計画事業費一覧

No	事業名			計画額	実績額	比較 (%)
	分野別計画					
	実施計画					
2198	狂犬病予防事業			1,747	1,590	△9.0
2264	クリーンたきざわ運動推進事業			2,680	1,841	△31.3
2920	環境基本計画推進事業			2,869	2,276	△20.7
2967	衛生指導推進事業			1,126	1,082	△3.9
2975	旧最終処分場閉鎖関連事業			0	0	0.0
2981	環境マネジメントシステム推進事業			0	0	0.0
2982	環境放射線監視事業			69	51	△26.1
3012	環境保全対策事業			4,341	3,410	△21.4
3133	環境衛生事業			262	295	12.6
8914	滝沢・雫石環境組合負担金			916,913	874,529	△4.6
10144	盛岡地区衛生処理組合負担金			200,817	196,942	△1.9
13785	ごみ処理等広域化推進事業			9,575	8,265	△13.7

